

乳幼児健診におけるアンケート併用の効果

その5. 1才6カ月児健診アンケートのまとめ

伊 藤 玲 子* 石 塚 志津子*
秋田県環境保健部 公衆衛生課

I はじめに

昭和52年10月より、乳幼児保健管理の充実をはかる目的で、1才6カ月児健康診査¹⁾を市町村生体で実施することが国より打出された。その趣旨をうけ、秋田県においても69市町村に対し事業の推進を普及することとなった。本県としての市町村への働きかけのうち、健診内容の充実を計る目的で、昭和36年より用いられている(昭和47年改訂)「秋田県妊産婦、新生児、乳幼児健康相談票」²⁾に連れいさせた1才6カ月児用相談票ならびに受診前質問紙(アンケート用紙)を小児保健会と協議の上作成し市町村に示した。さらに、厚生省心身障害研究母子保健医療システム中山班作成の1才6カ月児健康診査の手引き³⁾を参考に、小児保健会と協議で、秋田県の相談票にあわせた手引き⁴⁾を作成し、保健所および市町村母子保健担当者打合せ会において健診方法の概略を説明した。

本稿は、昭和53年実施69市町村のうち、20町村の1才6カ月児用アンケート用紙への母親の記入状況についてのべるものである。

II アンケート用紙について

別紙1に示す如くであるが、乳児、3才児と同様にA発育、B行動発達、C形態、D病気異常、E養護、Fその他の区分で40項目のチェック式となっている。このアンケート用紙を町村の健診案内と共に送り、母親を中心に家族で検討し、記入の上健診の際に持参することとした。

III 調査対象

昭和53年1月～12月までに1才6カ月児健診を行なった中の10保健所20町村で、実施人員は男672名、女566名の計1,238名である。(表1)

表1. 調査地区・調査数

保健所	市町村数	市 町 村 名	男	女	計
鹿 角	1	小坂町	56	56	112
五城目	2	飯田川町・井川町	49	34	83
男 鹿	1	若美町	66	50	116
秋 田	1	雄和町	54	39	93
本 荘	3	本荘市・岩城町・西目町	80	71	151
矢 島	2	由利町・烏海村	56	60	116
角 館	2	中仙町・西木村	79	51	130
大 曲	2	神岡町・西仙北町	44	35	79
横 手	5	平鹿町・十文字町 山内村・大雄村・増田町	176	159	335
湯 沢	1	皆瀬村	12	11	23
計	20		672	566	1,238

IV 成 績

20町村1,238名ををわせ、その記入の実態を記入者、母親の子どもへの問題意識、アンケート項目別観察状況、環境(出生順位、母の年令、母の職業、祖父母同居など)との関連を検討した。

A. アンケート用紙の記入者

母親の記入が89.0%、父が5.3%、記入なし4.0%、他は祖母、祖父、その他となっている。(以下記入者を母親で代表)。

B. 母親の子どもへの問題意識

母親の児に対する問題意識は極めて高く、1,238名のうち1,122名(90.6%)が何らかの問題を持っており、全くなしとしているのは116名(9.4%)である。その内容のうち、①発育・身体異常状況、②行動発達、③生活習慣・養護、等についてみることにする。集計は、家族の観察状況から異常を想定される「いいえ」の答えを中心にを行った。

* 秋田県環境保健部

1. 発育・身体異常状況

表 2. 発育・身体異常状況（問題あり）

ダブルチェック					
アンケート No	項 目	性 別		計	%
		調 査 数			
		男	女	1,238	
22	病気にかかりやすい	136	92	228	18.4
1	発育栄養状態	104	96	200	16.2
23	慢性の疾患	91	58	149	12.0
21	形態（形・色）異常	66	80	146	11.8
30	治療中の疾患	66	51	117	9.5
29	既往歴あり	49	37	86	6.9
27	知能のおくれ心配	36	21	57	4.6
26	ひきつけあり	32	21	53	4.3
24	光をきらう	14	8	22	1.8
28	身体の動きがおかしい	8	7	15	1.2
25	目の動きがおかしい	6	3	9	0.7

表 2. に示す如く、「いいえ」の比率の多いものから列記すると、病気にかかりやすい 18.4 %（かぜ、気管支炎、下痢など）、発育栄養状態に問題あり 16.2 %（小から、やせ、太りすぎなど）、慢性の疾患 12.0 %（湿疹、ぜんそく、じんましんなど）、形態（形・色）異常 11.8 %（皮膚、腕、足などの血管腫、母斑など）、治療中の疾患 9.5 %、既往の疾患 6.9 %、知恵おくれの心配 4.6 %、ひきつけ 4.3 % などがその主なものである。なお、現在治療中ならびに既往歴の疾患を、先天性、感染症、皮膚疾患、その他に分けてみると表 3. に示す如くで、「あり」と答えた者の約 60 % が感染症である。また、先天異常が 10～15 %（心臓奇型、ヘルニア、口蓋裂、股関節脱臼など）と

表 3. 既往歴・治療中の疾患

既往・ 疾患	既往歴	治療中	備 考
あ り	* 86 (6.9)	** 117 (9.5)	* 心臓疾患 6 ヘルニア 5
先 天 性	14 (16.3)	9 (7.7)	股 脱 3
感 染 症	58 (67.4)	68 (58.1)	** 心臓疾患 2 口 蓋 裂 2
皮膚疾患	6 (7.0)	39 (33.3)	ヘルニア 2 股 脱 2
そ の 他	20 (23.3)	10 (8.5)	停留睪丸 1 内 反 足 1

ダブルチェック () %

なっているが、乳児期に発見されていることが母親の記入からうかがわれる。

2. 行動発達

表 4. 行動発達（問題あり）

ダブルチェック					
アンケート %	項 目	性 別		計	%
		調 査 数			
		男	女		
9	2 語文	146	104	250	20.2
8	片言（意味のある）	27	11	38	3.1
10	絵本を指でさす	18	18	36	2.9
3	走る	10	17	27	2.2
14	絵本に興味	13	12	25	2.0
4	階段を上る（手を引いて）	11	12	23	1.9
5	なぐり書き	12	7	19	1.5
7	目が悪い	8	11	19	1.5
8	他の子に関心	10	2	12	1.0
12	おもちゃで遊ぶ	5	4	9	0.7
11	名前を呼ぶとふりむく	3	4	7	0.6
13	人のまね	3	3	6	0.5
15	おとなの相手をよろこぶ	3	3	6	0.5
2	よく歩く	0	5	5	0.4

表 4. の如く、母の訴のの主な事項としては、2 語文まだ 20.2 %、片言（意味のある）まだ 3.1 %、走るのがまだ 2.2 %、絵本をささない 2.9 %、絵本に興味ない 2.0 %、階段を上れない 1.9 %、なぐり書きまだ 1.5 % などである。

性別では、男児で二語文、片言など、ことばに問題を持つものが、女児で走るのがまだが若手多い傾向のほかは大差がない。

3. 生活習慣・養護

表 5. の如く、哺乳びん使用 62.0 %、おやつ時間不規則 61.6 %、排泄のしつけまだ 25.0 %、かんが強くぐずる 24.3 %、離乳未完 15.5 %、一人で食べない 10.7 %、変なくせ 10.3 %、よく眠れない 72 %（ねつきが悪い、夜泣き）、上衣を一人でぬげない 5.7 % などである。

性別では、上衣をぬげない、一人で食べないが男児に有意に多く、他の項目は大差がない。おやつ内容については、男女とも清涼飲料水が多く、ついでジュース、乳酸飲料、牛乳、果物、菓子、チョコレート、ガムなどが主となっている。

表 5. 生活習慣，養護（育児上）（問題あり）
ダブルチェック

アンケート No.	項 目	性 別		計	%
		調 査 数	調 査 数		
		男	女	計	
		672	566	1,238	
32	哺乳びんの使用	430	337	767	62.0
	おやつの時間不規則	421	342	763	61.6
34	排泄のしつけ	166	143	309	25.0
36	かんが強くぐずる	163	138	301	24.3
31	離乳完了	99	93	192	15.5
20	一人で食べる	83	49	132	10.7
39	変なくせ	71	57	128	10.3
35	よくねむる	49	40	89	7.2
17	上衣をぬぐ	49	21	70	5.7
38	周囲に関心なし	20	9	29	2.3
19	さじやフォークでたべる	14	12	26	2.1
18	コップの水がのめる	6	6	12	1.0
37	異常におとなしい	5	5	10	0.8

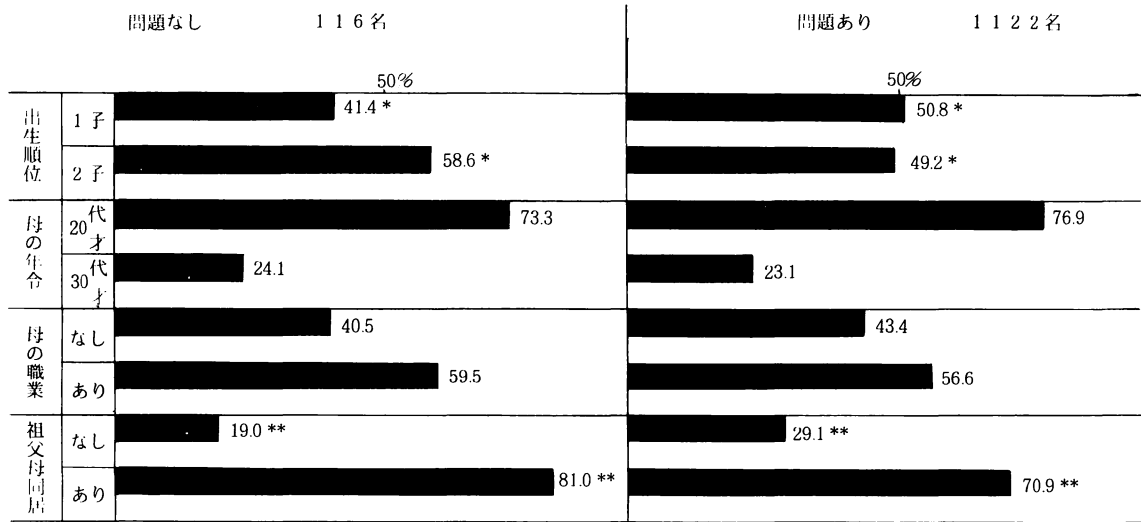
4. 行動発達の質問に対する「わからない」の解答
状況

15項目の中「わからない」の記入状態は表 6. の如くである。各項目の率は、目が悪いという心配 2.3 %，手をひいて階段を上りますか 2.3 %，絵本に興味を示します

表 6. 記入態度（行動発達の「わからない」）

アンケート No.	項 目 (ダブルチェック)	性 別		計	%
		調 査 数	調 査 数		
		男	女	計	
		672	566	1,238	
		62	67	129	10.4
2	よく歩く	0	2	2	0.2
3	走る	0	3	3	0.2
4	階段を上る（手を引いて）	14	14	28	2.3
5	なぐり書き	4	6	10	0.8
6	耳が遠い	2	6	8	0.6
7	目が悪い	12	16	28	2.3
8	片言（意味のある）	4	2	6	0.5
9	2 語文	6	9	15	1.2
10	絵本を指でさす	12	5	17	1.4
11	名前を呼ぶとふりむく	2	0	2	0.2
12	おもちゃで遊ぶ	0	1	1	0.1
13	人のまね	1	4	5	0.4
14	絵本に興味	16	7	23	1.9
15	おとなの相手をよろこぶ	2	0	2	0.2
16	他の子に関心	10	11	21	1.7

か 1.9 %，他の子どもに関心をもちますか 1.7 %，二語文をいいますか（マンマ，チョウダイなど） 1.2 %などが主なものであるが，15項目のいづれかに一つでも「わ



* P < 0.01 ** P < 0.05

図 1. 問題なし・ありと環境

からない」と記入した者は、実数として、対象238名のうち129名（10.4%）である。未経験によるもの、親の目がとどかないもの、児の本来的欠陥によるものなど養護面で積極的な話合いの必要と思われるグループと思われる。

5. 環境との関連

アンケートの上で母親の観察により、「問題なし」の群116名と「問題あり」の群1,122名（A 発育・身体、B 行動発達、C 生活習慣・養護の何れかに問題）について、環境（出生順位、母の年令、母の職業、祖父母同居）との関連をみた。「問題なし」の群は、例数も少く無理であるが、一応両群の環境項目の比率をみると図1.の如くで、出生順位で第2子（ $P<0.05$ ）に、祖父母同居で「あり」（ $P<0.01$ ）に問題なしが多く何れも有意差がある。母の年令、職業ではそれぞれほぼ同率である。

また、環境4項目と問題「なし」および「あり」群のA、B、C3項目との相互関連をみると図2.の如くである。すなわち

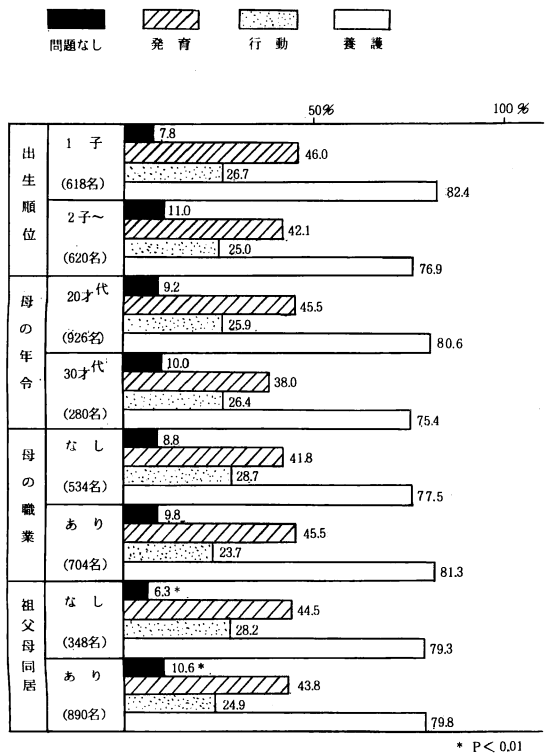


図2. 環境と問題別の状況

「問題なし」の児が、環境4項目においてそれぞれ約10%前後みられるが、祖父母同居有無別の場合、「同居なし」で6.3%、「同居あり」で10.6%と祖父母と同居している群に「問題なし」が有意に多い（ $P<0.01$ ）

ことはこの場合もみられる。

「問題あり」との関連では、発育・身体に問題を持つ児が環境4項目何れにおいても約40～45%みられ、行動発達では約25.0%、特に生活習慣・養護では何れの環境項目においても約80%の高率である。しかし、環境相互の有意差は認められなかった。

V まとめ

以上、昭和52年10月より全国的に行なわれることとなった1才6カ月児健康診査に併用の受診前質問票（アンケート用紙）を、昭和53年度実施の中の20市町村、1,238名について、母親の記入状況の面よりながめた。

1. 母親のアンケートに対する関心は極めて高く、90%の母親が何らかの訴えをしている。
2. 発育・身体異常状況では、病気にかかりやすいなどの項目に比率が高いが、既往歴、治療中の者は6.9～9.5%で、その中の約60%が感染症であり、先天異常が約10%である。
3. 行動発達では、ことばの問題が約20%で男児に多い。
4. 生活習慣・養護の面では、哺乳びん使用、おやつの時間が不規則など約60%、排泄のしつけまだ25%などが目立つ。
5. 行動発達の質問15項目の中、そのいづれかに一つでも「わからない」と記入した母親が10.4%であった。
6. 環境（出生順位、母の年令、職業、祖父母同居）との関連で、「問題なし」の群において、第2子および祖父母同居に多いことが認められた。

文 献

- 1) 厚生省児童家庭局：1才6カ月児健康診査の実施について（1977）
- 2) 伊藤玲子たち：アンケート方式の採用と妊産婦、新生児、乳幼児健康相談票改訂、秋田県衛生科学研究所報、No.16、105～141（1971）
- 3) 中山健太郎たち：乳幼児健康診査と集団健康管理のシステムに関する研究、厚生省心身障害研究、母子保健・母子医療システムに関する研究報告書、166～218（1976）

1歳6か月児健診をうけられるお母さんをお願い（第 子）

住 所	お子さんの氏名	ふりがな	男 女	昭和 年 月 日生	出生時体重 g
		姓 名 名 ま え 年 令 職 業	健・病	姓 名 名 ま え 年 令 健・病	
		幼 児 の 父	健・病	幼 児 の 母	健・病
		同 居 の 祖 父	健・病	同 居 の 祖 母	健・病
		同居の祖父母	健・病	同居人	健・病

○ 病気を早いうちに発見するために参考とする大事なことで
すので、毎日お子様を観察しながら下記の質問にあてはま
るところがありましたら○をして下さい。そして、健診を
うけに来られる時に持ってきて下さい。

記入者（母・祖母・父・祖父・その他）
記入月 日 年 月 日

○ 日中、お子さんは誰が見ていますか……………（
○ 前回の健診はいつうけましたか…………… 年 月 日
○ 前回なにか注意を受けましたか……………（
○ 定期の予防接種をうけていますか……………うけない うけた（

A 発 育	1) 発育と栄養状態について心配がありますか…………… ない ある（小がら、やせている、ふとりすぎ、筋肉や骨が細い、その他）
B 行 動 発 達	2) よく歩きますか……………はい・いいえ・わからない 11) 名前を呼ぶとふりむきますか……………はい・いいえ・わからない 3) 走ることができますか……………はい・いいえ・わからない 12) おもちゃで遊びますか……………はい・いいえ・わからない 4) 手をひいて階段を上りますか……………はい・いいえ・わからない 13) 人のまねをしますか……………はい・いいえ・わからない 5) 鉛筆でなぐり書きができますか……………はい・いいえ・わからない 14) 絵本に興味を示しますか……………はい・いいえ・わからない 6) 耳が遠いという心配がありますか……………ない・ある・わからない 15) おとなが相手になると喜びますか……………はい・いいえ・わからない 7) 目が悪いという心配がありますか……………ない・ある・わからない 16) 他の子どもに関心をもちますか……………はい・いいえ・わからない 8) ママ、パパなど意味のある言葉をいいますか……………はい・いいえ・わからない 17) 上衣をぬぐうとしますか……………はい・いいえ・わからない 9) マンマ、チョウダイなど（2語文）いいますか……………はい・いいえ・わからない 18) コップの水がのめますか……………はい・いいえ・わからない 10) 絵本の知っているものをさす……………はい・いいえ・わからない 19) さじやフォークで食べ物を口に運びますか……………はい・いいえ・わからない 20) 1人で食べますか……………はい・いいえ・わからない
C 形 態	21) からだの形や皮膚の色がおかしいという心配がありますか…………… ない ある（あるときは部位に○をつける） 頭部 顔 胸 腹 背部 皮膚 腕 手 脚 足 その他（
D 病 気 異 常	健康について、次のような心配がありますか…………… ない ある（あるときは項目番号に○をつける） 22) 病気にかかり易く、何回もくり返している かぜ・気管支炎・肺炎などを何回も起した 熱を何回も出す・下痢し易い・腹痛をくり返す 23) 慢性的の病気やアレルギーがある 湿疹、ぜんそく、じんましん、自家中毒、その他（ 24) 光をきらう（まぶしが、いつも涙がでている） 25) 目つきや、目の動きがおかしい 26) ひきつけたことがありますか…………… ない ある { その時：熱があった、熱がなかった 今まで何回ですか（ ）回 はじめは 年 月 日頃
E 養 護	27) 知能のおくれがあるという心配がありますか……………はい。 いいえ。 わからない。 28) 手足・身体動きがおかしいという心配がありますか……………はい。 いいえ。 わからない。 29) この他にも大きな病気をしたことがある……………病名（ 30) 現在治療中の病気がある……………病名（ 31) 離乳について……………順調に完了しましたか……………はい（ 歳 か月） いいえ 現在離乳中 32) 食事について……………質・量とも適量 少食 偏食（ 食事時間：規則的、不規則 哺乳びんの使用（現在） { a. していない おやつ時間：規則的、不規則 b. している 摂取頻度の多いおやつを○で囲んでください。 清涼飲料、ジュース類、乳酸飲料、牛乳、くだもの、菓子類（チョコレート、ガム、キャラメル、あんぱん） 33) 食後の歯の清潔に注意していますか……………はい。 いいえ。 わからない 歯の生えはじめ（ か月） 34) 排泄のしつけをはじめていますか……………はい。 いいえ。 わからない 35) 夜はよくねむりますか……………はい。 いいえ。 わからない ねつぎが悪い、夜泣き、その他（ 36) かんが強くぐずることがあります……………ない。 ある。 わからない 37) 異常におとなしい（あまり笑ったり、泣いたりしない）感じですか……………いいえ はい わからない 38) 周囲の人に関心がなく、しらんふりの状態がありますか……………いいえ はい わからない 39) 変なくせがありますか……………ない ある（ F その他 40) 乳児6か月までの栄養……………母乳（ か月） 混合（ か月） 人工（ か月） 41) 他に心配なことがあるときは書いてください。